

第1回彦根市公共交通活性化協議会 連携計画実証分科会 議事録

開催日 平成22年1月12日(月) 午前10時~12時
開催場所 彦根市役所 31会議室
出席者 委員名簿のとおり
事務局 交通対策課 栗本副参事、橋本課長補佐、矢守

1 開会 あいさつ

事務局

高齢化社会を迎えるにあたって公共交通をしっかりと取り組んでいきたい。本日は平成21年度取り組みだ事業についていろんな角度から検証をしていただいて22年度につなげていきたい。現在取り組んでいる定住自立圏の事業もあるので、その参考にもしていきたい。

2 議事

(1) 平成21年度事業の検証について

[事務局説明]

資料1~資料4の説明

[意見]

- ・乗ったお得感がない。乗って割引がある、ホップカードにポイントを、というようなのがないと、新たな利用者獲得は難しい。通勤通学の輸送は限度がありこれ以上の増加はなかなか望めないのでは、利用していない人を取り込む、新たな層を開拓しないといけない。商店街に駐車場がないので、例えば自転車で来たらサービスをするというようなことは協力してくれるところもある。来年度はお得なサービスを提供できる事業は考えているのか。

3年間の計画事業で商店街との連携事業やエコ交通ポイント等の利用促進事業を挙げており、来年度予算要求に計上しているが、商店街とは調整していない。

財政当局に説明するのであれば、商店街等と調整して、商店街もやる気であることを示さないといけない。

- ・新聞での話題づくりがない。
- ・河瀬学区で老人クラブのヒアリング調査をされたが、河瀬の方と話をさせてもらうのに、どのような意見が出たのかを教えてほしかった。十分な意見が言えていないようにも聞いている。
- ・アンケートにポイントやおまけのようなものを入れてはどうか。

バスと乗合タクシーのアンケート用紙は印刷済みなので、マップのアンケートで入れる。

- ・車椅子利用は三津屋線では少ない。買物施設にバスが入ると車椅子で利用しやすいが彦根はバスがモールに入らない。草津や長浜のイオンは入っている。

ピバシティへの乗り入れを検討していたが、政権交代で話が宙に浮いてしまった。

- ・マップアンケートについて、ワークショップでやったことと、アンケート調査の関係がよくわからない。ワークショップで情報収集してマップを作ったので、同じ事をアンケート調査で聞くのではなく、ワークショップで議論した内容が、ニューズレターにあるように系統番号を入れた等、きちんと伝えられているかどうかを聞くべきではないか。

- ・3月はどのようにマップ配付を考えているか。全戸配付だけではなく、事業所に押し付けてでも送らないといけない。マップと時刻表が表裏になっているので、必ず2枚セットで。
- ・県立大学の新入生にはぜひ全員配布したい。南彦根駅から県立大学へバスがあることは分かっても、こんなにバスが市内を走っていることを意外と知らない。入学式等の配付資料に入れられるか、何部必要かは大学に確認してみる。
- ・マップは折り方も工夫できるように配置したらどうか。折る楽しみもあると思う。
- ・マップアンケート調査配布先の福祉センターとはどこのことか。
社会福祉協議会等がある福祉センターを考えている。
 中老年人福祉センターにある老人クラブ連合会事務局ではバスの回数券を販売しているし、利用者にはバスに乗る方も多い。回数券を買いに来られた人にアンケート調査を渡すことはできるので、ぜひアンケート調査を配置してほしい。
 県大生協でも回数券を販売しているので配置してほしい。

(2) 自己評価について

[事務局説明]

資料5～資料6の説明

[意見]

- ・1で利用者数が想定をかなり下回るなど効果が現れていない場合に翌年度事業を実施するにあたって必要な見直しを行ったか、適切な理由等が明らかにされているか、とあるが、何か検討をしているか。景気の悪化や高速道路ETC料金値下げで全国的に利用者が減っていると思うので、そのことは書いたほうがよい。
 県内の湖国バス・近江鉄道バスは、店舗オープン等特別な事情がない限り利用者は減っている。
 景気の悪化や高速道路料金値下げは、鉄道との乗り継ぎが減る等のあおりを受けている。
- ・次年度の動きが明確に見えてこない。利用者100万人という目標に対してどうするか。
 平成22年度の計画は、利用者数向上に向けた事業を予定している。企業や商店街と連携を図りながら公共交通を図っていきたいと考えている。
- ・評価表の中に来年度絶対やろうというキーワードが見えてこない。2の住民による自主的な利用促進の評価項目の中に、商店街との連携等で新たな利用者を獲得していくことを入れてはどうか。
- ・マップの使い道についてどこかに入れてはどうか。

(3) その他

事務局から、湖東圏域公共交通活性化協議会への拡大、変更についての説明および協力を依頼した。

以上

彦根市地域公共交通活性化協議会 連携計画実証分科会 出席者名簿

団体等	職名	氏名	出欠
一般旅客自動車運送事業者	湖国バス(株) 代表取締役	角田 仁	出席
	彦根観光バス(株) 代表取締役	大西 和弥	出席
	近江タクシー(株) 本社営業所 総支配人	久田 良夫	出席
学識経験者	滋賀県立大学准教授	近藤 隆二郎	出席
住民または利用者	彦根市身体障害者更生会 副会長	中村 裕次	出席
	彦根市老人クラブ連合会 会長	宮野 武男	出席
		佐々木 和之	出席